

更生訓練所だより



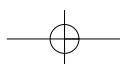
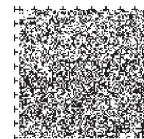
鍼灸マッサージ臨床実習施術室内 待合室 (写真)
写真中央は第31期学友会会長宮之原滋氏 写真右は元理療教育部長見原捷三氏寄贈のカワセミの写真

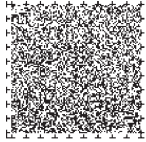
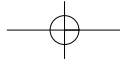
目次

第14号 2009.12発行

【総合支援課】並木祭を終えて	2
【総合支援課】介護棟改修について	3
【自立訓練課】自立訓練紹介 - 振り返り表【自立訓練(生活訓練)】 -	4
【就労相談室】就労支援セミナーを開催しました	5
【理療教育課】シリーズ 理療教育の科目紹介Vol.2 解剖学/東洋医学概論	6
【総合相談課】利用者募集のご案内	8

国立障害者リハビリテーションセンター 更生訓練所





並木祭を終えて

総合相談支援部 総合支援課

去る10月17日、18日、国立障害者リハビリテーションセンターと国立職業リハビリテーションセンターにおいて、第30回リハ並木祭を開催しました。

この並木祭開催準備のため6月から実行委員会を立ち上げ、当日まで延べ5回委員会を開催し、検討を重ね、利用者と職員が協力して企画・運営を行いました

当日は、センター内だけでなく、地域の皆様にもご来場いただき、催し物や模擬店は大変盛り上がり、売り切れ続出となりました。

利用者の方々に感想を伺いましたので、ご紹介いたします。

「私は、午前中は、第4就労支援室でポップコーンを作ったり、売るということをやりました。キャラメルポップコーンを作る時は、不安が多少ありましたが、失敗せずに出来たので、良かったと思います。

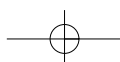
午後は、第1就労支援室で、正八方形模型を作ったり、教えたりしました。子供達にやり方を教えたつもりでしたが、うまく説明できず、反省点がありましたが、これからは自分でよく考えて出来るようにしていきたいと思います。」 (林 桂一郎)

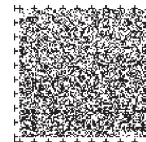
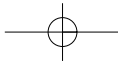
「私は初めてリハ並木祭に参加しました。並木祭を終えて振り返ると、私は二十面体のコーナーの説明と電気の回路の説明の担当をやりました。お客さんに説明したり、話し合ったりすることが苦手でしたが、自信を持って話すようにしました。お客さんと話をする度に、少しずつコミュニケーションを取ることができるようになって、とてもいい経験になったと思いました。

第1就労支援と第2就労支援で仕事をして、お客さんと盛り上がり楽しくできて、とても楽しい並木祭でした。」 (レミスピニエル・エルシオ)

「国リハの並木祭は第1就労で塗り絵とか二十面体とかをやりました。二十面体とかを放課後に作ったりして並木祭は初めてだったけど楽しくできました。並木祭やって良かったと思いました。」

(土方 健一)





介護棟改修について

総合相談支援部 総合支援課

介護を必要とする方の受け入れに伴い、総合支援課では伊東・別府重度障害者センターなどを参考に、検討を重ねてきました。10月に介護棟が完成し、支援ステーションも新しくなりましたので、写真で設備のご紹介を致します。

支援ステーション



24時間体制で介護員が勤務しています。

居室



トランスファーを両サイドからでも行えるように、ベッドサイドのスペースを広くとっています。

リフター



居室・介護トイレ・介護浴室に設置

介護トイレ



トイレチェアを用いて使用します。

訓練トイレ



陰部洗浄などが行えるよう、各ブースにシャワーを設置しました。

介護浴室

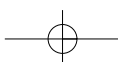


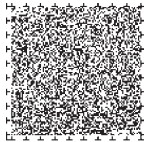
現在、1台のみ設置

個別浴室（訓練浴室）



プライバシーを考慮したつくりになっています。





自立訓練紹介

～振り返り表【自立訓練（生活訓練）】～

自立訓練部 自立訓練課

高次脳機能障害がある方の訓練紹介（第2弾）として、今回は朝の会、夕の会及び1週間のまとめ等の場面において使用している『振り返り表』を紹介いたします。

この『振り返り表』は、朝の会では、1日のスケジュールや目標の確認を行い、夕の会では、その日1日を通して目標に対する行動の振り返りなどに活用しています。

また、週末の「今週のまとめ」の時間に、毎週月曜日に立てた1週間の目標に対する行動の結果と反省点、評価点、改善点等を自分自身でまとめることによって、スケジュール管理や訓練課題に対して目標の意識を高め、場面場面での適切な行動評価や記録の習慣化及び記憶の保管手段（メモリーノート）の利用が自分自身でうまくできるようになることを目指します。

振り返り表 平成 年 月 日()～ 月 日()

～今週の目標～ *目標は前の週と同じでも構いません。大事なことはいつも同じです！
*その場でなくてもOK。

目標	ベスト3	そのためにはどうしたらよいか？(具体的に・・・)
①		
②		
③		

MEMO(アドバイスや思ったことを書く欄)

日付	訓練名	チェックポイント				感想・反省	目標についてどうだったか？		
		①出席	有/無	③忘れ物	無/有		職員確認	一日を振り返って	
(月)	ホームルーム 朝の会	①出席	有/無	③忘れ物	無/有				
		②遅刻	無/有	④体操・気分	O/△/X				
	夕の会	①出席	有/無	③忘れ物	無/有				
		②遅刻	無/有	④体操・気分	O/△/X				
	(火)	ホームルーム 朝の会	①出席	有/無	③忘れ物				無/有
			②遅刻	無/有	④体操・気分				O/△/X
夕の会		①出席	有/無	③忘れ物	無/有				
		②遅刻	無/有	④体操・気分	O/△/X				
(水)		ホームルーム 朝の会	①出席	有/無	③忘れ物	無/有			
			②遅刻	無/有	④体操・気分	O/△/X			
	夕の会	①出席	有/無	③忘れ物	無/有				
		②遅刻	無/有	④体操・気分	O/△/X				

日付	訓練名	チェックポイント				感想・反省	目標についてどうだったか？					
		①出席	有/無	③忘れ物	無/有		職員確認	一日を振り返って				
(木)	ホームルーム 朝の会	①出席	有/無	③忘れ物	無/有							
		②遅刻	無/有	④体操・気分	O/△/X							
	夕の会	①出席	有/無	③忘れ物	無/有							
		②遅刻	無/有	④体操・気分	O/△/X							
	(金)	ホームルーム 朝の会	①出席	有/無	③忘れ物				無/有			
			②遅刻	無/有	④体操・気分				O/△/X			
夕の会		①出席	有/無	③忘れ物	無/有							
		②遅刻	無/有	④体操・気分	O/△/X							

～今週の結果～

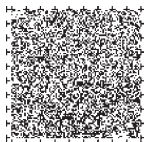
	回数	理由
欠席		
遅刻		
忘れ物		

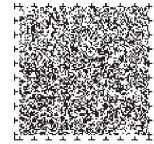
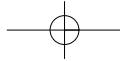
※忘れ物のチェックは職員確認時にお願いしています。忘れ物以外のものは、職員確認時に必ずチェックしてください。

～今週の総合評価～

目標にしたこと	ベスト3	良かった点・上手かった理由	より良くする点
①			
②			
③			

～“今週の自分”の自己評価～





就労支援セミナーを開催しました

理療教育・就労支援部 就労移行支援課 就労相談室

就職をめざす上で重要なことは、どのようなことでしょうか。また、企業は、どのような人を求めているのでしょうか。こうした疑問に答え、利用者の皆さんの今後に役立てていただくため、毎年「就労支援セミナー」を開催しています。

本年度は、秋の就職面接会シーズンを目前に控えた平成21年9月24日に、「就労支援セミナー」を開催しました。セミナーには、就労移行支援の利用者のほか、自立訓練の利用者、職員を含め60名近い参加者がありました。どの参加者も真剣に講師の話に耳を傾け、講演終了後の質疑応答では、「採用後の研修は?」「就職面接でのポイントは?」「仕事をしていて良かったと思うことは?」など途切れることなく多くの質問が出されました。

今回の講師には、所沢市内に本社を置く協栄流通株式会社（コープネットグループ）の障害者雇用担当増田あけみさんをはじめ3名の担当者チームの方と、平成19年に当センターの就労移行支援を修了され株式会社ヤオコーに就職された山口真之さんをお招きしました。

はじめに、増田さんからは、企業として求める人材について、「自立」「謙虚」「協調」という3つのキーワードを挙げてお話をいただきました。つまり、何かの特別な技能よりも、精神的に自立している人、業務指示や注意を素直に聞くことができる人、仲間と助け合って仕事ができる人を求めている、それらは、企業理念でもある安心で安全な品質管理を進める上で非常に重要なことであるとのお話がありました。

つづいて、修了者の山口さんからは、更生訓練所で就労に向けた支援を受けたことを機に、「障害を隠すのではなくオープンに伝えて、障害を理解してくれる会社に就職しよう」と考えるようになったというお話がありました。就職面接会においてもその考え方を貫き通して人事担当者との面接に臨んだ結

果が、現在勤務している会社への採用につながったとお話しして下さいました。

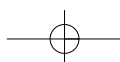
セミナー終了後に記入していただいた振り返りシートによる結果では、セミナーを聞いて今後何を身につけるべきと感じたかという項目に対して7割以上が職業技術以外のことをあげており、コミュニケーションの取り方（50%）、職場での基本的なマナー（45%）の順で回答が多くみられました。また、そのほかにも、「特別な知識や技術を高めることよりも、基本的なことを確実に身につけることが大切であると感じた」「自分の障害を隠さずに話すことができるようになることも必要であると感じた」などの自由記述がみられました。今後セミナーで聴きたい内容として、ハローワークなど就職を支援する機関の人の話（50%）、職業の選び方や面接の受け方（41%）などがあげられていました。

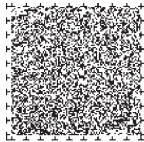
こうした結果も参考にしながら、今後も「就労支援セミナー」を企画、開催していきたいと考えています。

最後に、お忙しい中快く講師をお引き受けいただいた協栄流通株式会社の増田様、滝澤様、服部様、当センター修了者の山口様に、御礼申し上げます。



写真 セミナーの様子（大会議室にて）





シリーズ 理療教育の科目紹介Vol.2 解剖学／東洋医学概論

理療教育・就労支援部 理療教育課

◎ 解剖学

1 解剖学は人体の構造を学ぶ学問です

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を目指す方は、人体諸器官の位置・形態・構造を理解し、これを施術に応用する能力と態度を修得することを目的として、解剖学を学びます。理療教育の学習は、この人体の構造を学ぶ解剖学が基礎となって広がっていきます。

2 問題数も授業数もナンバーワン

あん摩鍼灸師の免許取得には、国家試験を受験しなければなりません。アマ指師試験が150問、鍼灸師試験が160問で、制限時間は各6時間です。両方受験する方は二日かかりとなります。

解剖学はこのどちらの試験にも、約20問出題されます。また、解剖学は他の医学系科目の基礎となるため、授業数も多く、1年生の時間割にはほぼ毎日配当されています。

3 三次元的構造を理解する工夫

皆さんは、初めて出かける場所の位置をどのように把握しますか。言葉や活字だけでは、なかなか理解できませんが、地図を見れば一目瞭然です。解剖学の教科書にも人体の構造を表す図や写真が多く載せられています。見えにくい利用者の皆さんは、この図を拡大読書器に大きく映したり、精密に作られた模型に触れながら学習しています。

4 授業の掟(おきて)

構造や仕組みについて学習していると、つい「これは…」、「あっちが…」などと指示語を使ってしまう。この指示語はセンターでは御法度です。こちらの示す指先や模型などの対象物が、視覚障害のある利用者の方には確認できにくいからです。模型を観察する際には、利用者の皆さんの手をとって一緒に触れながら学習しています。

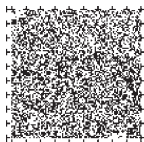


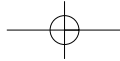
写真 模型観察は、解剖学の授業には必須

5 他の科目との関連を大事にしています

解剖学は、人体の隅々までを専門用語で学ぶ学問です。学名の暗記はよい成績に結びつきますが、単なる記憶力を強いる科目では退屈な科目となってしまいます。人体の仕組みの素晴らしさに気づき、また、諸器官の働きや病気との関連などにも触れながら授業を進めています。

6 リスク管理

利用者の皆さんはやがてあん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師としてセンターを巣立っていきます。人体の構造を十分理解し、安全で事故のない施術者の育成に解剖学は欠くことのできない科目の一つになっています。
(文/木村 秀伯)



◎ 東洋医学概論

あん摩や、鍼灸を使って患者さんを治療する時の根拠となる東洋医学を学習する科目です。

専門課程では、1年生に東洋医学概論Ⅰが週2単位、2年生に東洋医学概論Ⅱが週3単位配当されています。同様に、高等課程では、1年生に週3単位、4年生に週3単位が配当されています。

東洋医学は古代中国(漢代)の優れた民族医学が独自に発展したものです。そこには、「気」という独特のエネルギー概念があり、自然界や人体の様々な出来事は全て「気」の変動によると考えられています。

その「気」が滞りなく人体の中を流れていれば人は健康で、ひとたび「気」の流れが悪くなると病気になると考えます。

あん摩鍼灸は、その流れの悪くなった「気」の流れを回復させるため、「経穴(一般にツボと呼ばれる)」や気というエネルギーが人体を流れる通路である「経絡」に施術を施し、その人の自然治癒力を高め、健康を取り戻させようとします。

しかし、そのためには東洋医学の考え方を十分に学習しておかねばなりません。東洋医学概論で学習する内容は大きく5つの項目です。

1 陰陽五行論

古代中国の人々が自然界、森羅万象の全ての出来事が「気」の変動によって起こるとしており、その「気」の変動の法則を学びます。その法則は陰陽論と五行説というもので、それらの考え方を学ぶことは、自然界の一部である人体の「気」の流れの滞り、つまり病気の治療の基本となっています。

2 臓腑論(五臓六腑)

久しぶりにお酒を飲むと、「五臓六腑にしみこむ」と言うことがあります。五臓六腑とは、東洋医学が考える人体の内蔵のことで「臓腑」と呼ばれています。肝、心、脾、肺、腎など、現代医学の内臓と同じ漢字を使っていますが、東洋医学は人体の機能として捉えます。そしてそれぞれの臓腑の「気」の過不足によって身体に様々な影響を及ぼすことを学びます。

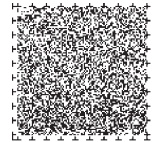


写真 拡大読書器には、「五行の色体(しきたい)表」

3 病因論

どうして人体の「気」の流れが滞るのか、すなわち、なぜ病気になるのかを学びます。東洋医学では自然の気象因子が人体に悪影響を及ぼすだけではなく、ストレスやライフスタイルの乱れなども病因(病気の原因)になると考えます。

つまり、患者さんの訴える症状だけでなく、その患者さんの内面やライフスタイル全体を観察する姿勢を学ぶのです。

4 病証論

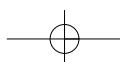
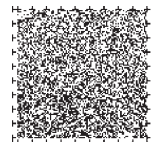
いわゆる「病の見立て」のことです。東洋医学では、「証(しょう)を立てる」といいます。「証」とは、病の本質を示し、治療の方針とするものです。患者さんの体質や身体のような症状を総合的なパターン(症候群)として証を立てます。それが出来れば、そのまま治療法が導き出せます。

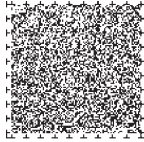
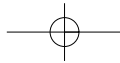
5 四診法(診察法)

東洋医学では診察法も現代医学とは違って、脈(みやく)や舌を診て患者さんの体力を窺い、臓腑の状態を診ます。独特です。また、患者さんの声色も診察の対象となります。この東洋医学独特の診察法を「四診法」と言い、それにより証を正確に立てられるように学びます。

このように東洋医学概論はあん摩はりきゅう師として、必要な東洋医学の専門知識を身につける為の重要な科目なのです。

(文/小泉 貴)





利用者募集のご案内

総合相談支援部 総合相談課

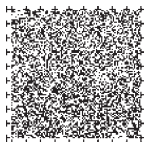
更生訓練所では、生活の幅を広げたい方や、就労を目指す方を随時募集しています。それぞれ下記のサービスを実施しておりますので、利用を希望される方は、総合相談課までお問い合わせください。

1 当センターが提供する施設障害福祉サービス

サービスの内容	対象者	定員	利用期間	サービス内容	
昼間実施サービス	自立訓練 (機能訓練)	主に視覚に障害がある方で、自立した生活を送るための訓練を必要とする方	40名	18ヶ月以内	<ul style="list-style-type: none"> ・移動訓練（歩行訓練） ・日常生活訓練（日常生活技術・各種機器操作等） ・コミュニケーション訓練（スクリーンリーダー操作、IT機器操作等） ・ロービジョン訓練（視覚補助具、光学的補助具の利用等）
	自立訓練 (生活訓練)	主に高次脳機能に障害がある方で、自立した生活を送るために訓練を必要とする方	10名	24ヶ月以内	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの確立（週間プランニング、日課時間管理等） ・生活管理能力の向上 ・社会生活技能の向上（日常生活訓練、移動訓練等） ・代償手段の獲得・作業耐性の向上
	就労移行支援	主に身体に障害のある就労を希望する方で、新しい知識や技能を習得して就労の見込まれる方	100名	24ヶ月以内	<ul style="list-style-type: none"> ・職業準備訓練 ・職場体験訓練 ・技能習得訓練（機械製図、電気・電子、織物、一般事務、経理事務、事務補助、クリーニング等） ・実習 ・就労マッチング支援（職場開拓、就職活動、フォローアップ等）
	就労移行支援 (養成施設)	視覚に障害がある方で、資格を取得することで就労または自立が見込まれる方	170名	3年または5年	<ul style="list-style-type: none"> ・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験受験資格取得に向けた学習。 ・就労マッチング支援（職場開拓、就職活動、フォローアップ等）
施設入所支援	昼間実施サービスの利用者で、通所困難な方。	340名	昼間実施サービス提供期間内	<ul style="list-style-type: none"> ・宿舍の提供 ・食事の提供 ・生活援助 	

2 利用開始日

就労移行支援	概ね毎月1回
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	概ね毎月1回
就労移行支援 (養成施設)	毎年度4月上旬



〈利用に関するお問い合わせ〉
 〒359-8555
 埼玉県所沢市並木4-1
 国立障害者リハビリテーションセンター
 更生訓練所 総合相談課
 TEL：04-2995-3100（代表）
 FAX：04-2992-4525（総合相談課）
 Email：soudan@rehab.go.jp
 HP:www.rehab.go.jp/index.html
 *見学、相談は随時予約受付しております。

